

日時 :2023年7月12日(水)13:15集合 (保存の会の案内は 13:30~16:00)

集合場所 :東急日吉駅《虚空地蔵》、1階 改札の向かいの銀玉のオアシスの前

・中川駅 12:43~12:45 センター北 12:54~13:06 日吉駅

「日吉台地下壕保存の会」にお願いし、20人枠を確保しました。）

壕は慶應義塾の構内にあり、「日吉台地下壕保存の会」は、慶應義塾の許可・指導範囲内の活動です。

当日は、「必ず案内人の指示に従い、単独行動は控えていただくと共に注意事項を厳守願います。」

(2時間以上の長時間立ちパなし、トイレも我慢です)

- ・参加費 800円(当日徴収)
- ・懐中電灯 (ヘッドライト型がお勧め :百均にあり、電池を忘れないで、これも百均にあり)
- ・スニーカー等(急坂、階段、滑りやすい箇所、排水溝等があります) ・帽子もあつた方が良い

参加希望確認 : 上記の条件をクリアできる方を募集 6月14日締め切り。

(希望者が多いと思われますので、6月21日のMeetingでくじ引きとしたい)

尚、「日吉台地下壕」の定例見学会は毎月2回(第2水曜日・第4土曜日)、個人でも申し込めます。

以上

慶應大学日吉キャンパスの地下に広がる戦争遺跡・日吉台海軍地下壕


太平洋戦争中に大日本帝国海軍が、慶應義塾大学日吉キャンパス地下一帯に建設した防空壕。

日吉台遺跡群の1つ。 連合艦隊司令部や、海軍省人事局・航空本部・艦政本部などの海軍の重要機関が入居する地下要塞として使用された。

1944年に掘られた地下壕の総延長は約5キロ。キャンパス内にある入り口から急坂を下りると真っ暗な長い通路が続く。天井の高さが3mある広い作戦室や約30台の短波受信機の電信室、暗号室などが内部に設けられていた。 沖縄特攻作戦へ向かう途中の45年4月、鹿児島県沖で撃沈された戦艦大和への出撃命令はここから出された。

日吉台地下壕保存の会

<http://hiyoshidai-chikagou.net>



ここには旧海軍連合艦隊司令部が置かれ、前線へと命令が送られていました。特攻作戦や沖縄戦の命令もここから出されました。

この貴重な地下壕を保存するために発足させたのが「日吉台地下壕保存の会」で、今日までさまざまな活動を続けています。

地下壕紹介	保存の会よりお知らせ
保存の会について	<p>日吉台地下壕保存の会では、慶應義塾の許可を受けて毎月2回、定例見学会をおこなっています(慶應義塾による一般公開はありません)。</p> <p>定例見学会は毎月2回(第2水曜日・第4土曜日)となります。</p> <p>見学を希望される方は「見学のご案内」をご覧ください。</p>
見学のご案内	
会報バックナンバー	